

たかはぎ

発行と編集 高萩市役所市長室・広報広聴係
高萩市本町1-100 (電話) 3-2111 印刷 藤枝印刷所

- 1 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
- 1 礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
- 1 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
- 1 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう



入学の前に健康診断をするよい子たち (東小にて)

さあ、もうすぐ一年生

今年の新入学児は、578名

今年、市内の小学校へ入学する お子さんは、男が289、女が289名の計578名となっています。4月の入学式を前に、不安と楽しさが入り乱れてまちわびていることでしょう。学校での健康診断もすみ、入学を迎える子どもに、親として、とくに気をつけたいことをあげてみました。

幼児語をなくそう

手のことを「おてて」足のことを「あんよ」というような幼児語は、なくすような指導が必要でしょう。また、はつきりと「はい」「いいえ」と普通に話ができるように育てることがたいせつです。

自分のことは

自分でする習慣を

「これは、だれの帽子ですか」と毎日くりかえして、子どもの前で叫ばなければならぬ先生は大変です。持ち物には全部名前を書いておきましょう。

遊んだあと、道具のかたづけは、実行させるよう習慣づけましょう。

交通知識を

身につけて

自動車の通行がはげしくなつて毎日のようにいたましい事故が増えていきます。

学校までの安全な通学、通路を教え、正しい交通知識を身につけましょう。交通事故にあつて背おランドセルが仏段にあがるようなことでは……。とにかく、かわいい新入学のお子さんを交通事故から守つてやりましょう。

新入学児・園児を

交通事故から守ろう

春の全国交通安全運動

安全運動に協力を

春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日

目的

この運動は、歩行者、自転車利用者、特に子供(新入学児童園児)の交通事故防止に努めるとともに、県民すべての者に交通安全思想の普及徹底と正しい交通ルールの実践を習慣づけ交通事故防止を図ることを目的としています。

スローガン

ちよつと待つよい習慣が身を守る

運動の重点

- (1) 自転車利用者、歩行者、特に子供(新入学児童、園児)の交通事故防止
- (2) 夜間における交通事故防止
- (3) 「三ない運動」の強化徹底

今月の納税

今月の納期の税はありません。納め忘れていた税金は、早めに納付しましょう。

市の人口と世帯数

	2月1日現在	前月比
人口	31,552人	(-7)
男	15,458人	(-11)
女	16,094人	(+4)
世帯	8,703世帯	(-13)

定向上をめざす

生活道路の整備

計画から



わたくしたちのまわりの高萩市のあるべき姿、進むべき将来像を示そうとするもの

調和のとれたたまちづくりへ

わたくしたちのまわりの高萩市のあるべき姿、進むべき将来像を示そうとするもの
——これが高萩市総合振興計画です。
この計画は、昭和60年を目標とする基本構想が、昭和47年4月に策定され、同時に昭和47年度から昭和50年度の3年間の第一次基本計画が策定されました。これをもとに市政の行政指標として行政の運営を行なってきましたが、今回基本構想に基づいて、昭和51年度から55年度までの第二次基本計画が、昨年4月に策定を完了し低成長時代のなかでの人間性の豊かさを求めて、計画的行政を推進していかねばなりません。そこで、第二次基本計画のあらましを紹介しましょう。

生活を快適にする社会開発

人間愛をばぐくむ人づくり

豊かなまちと

人間づくりをめざして

市民のみなさんに安全な活動の場と、快適な生活を保障することは、自治体の基本的な責務です。

つねに市政担当の信条としております「生活を快適にする社会開発」―人間愛をばぐくむ人づくり―をめざして前進を続けています。

人口のみとおし

人口と土地は、人間の集団生活のうえから、産業、経済活動のなかで直接市民生活に大きなかわりあいをもっています。

産炭地域振興施策などの成果のあらわれや、平均寿命ののびから人口増が予想され、昭和55年には3万7,000人が見込まれます

そのうち総人口の53%が職業をもっていますが、目標年次までに表Aのとおり第一次産業就労者は減少傾向にあり、第二、第三次産業就労者が増加すると見込まれます。

道路の整備

日常生活に密接なかわり合いのある住みよいまちづくりのために道路整備は、欠くことのできないものです。

国道、県道との連結を充分に考えたうえで、道路整備舗装は、この5年間で3・5メートル以上の道路の大半の完了をめざし、改良も着実に進めていきます。

完成めざす団地造成

核家族化等により住宅不足は、持家率の向上をはかりながら、市

表(A)

人口	1次産業			2次産業			3次産業		
	45	50	55	45	50	55	45	50	55
1万人									
5千人									
人口	2,759人	2,084人	1,842人	6,222人	7,563人	9,026人	5,807人	6,739人	8,406人

住宅公団が実施する下手綱団地は、昭和54年を目標に400区画を造成していきます。

公園緑地の拡充

市民生活に憩を与え、適度のスポーツ、レクリエーションを楽しむためには、公園や緑地、広場などが必要です。

子どもたちがのびのびと活動できる遊び場がなによりも必要です。お手まき会場跡地は、昭和54年から森林総合利用として、市民に開放することになります。また、児童公園を3カ所予定す

るなど市民のやすらぎの場として公園の設置をはかります。

水資源の利用

水は、市民生活や産業にかかせない資源であり、将来、都市の発展と、生活水準の向上による水需要に対処するため、水資源を確保し有効に利用します。

上水道の普及

清潔で衛生的な飲料水を供給するため、上水道の普及率を昭和50年の41・2%を目標年次までには74・1%にします。

公共下水道の認可

下水道は、都市的施設のもとになるもので、生活を快適にする要素の一つであり、一般排水路の改修整備と、公共下水道整備は、昭和53年度事業認可になるよう進めてまいります。

環境衛生の整備

生活力と生活の高度化は、必然的に日常生活の中から廃棄物を大量に排出させる結果を招きます。ゴミや、し尿などの廃棄物は、年々増大しているため、それに応じた処理施設の増設をはかります。

交通、通信の充実

都市化が進むと、交通量や通信

市民生活の安

教育施設の充実と

55年度目標の 第2次基本



網が多くなり、市民生活の利便さを考え、交通通信施設の充実をはからなければなりません。すなわち、駅東に改札口の新設の要望や、バス路線においても、有機的な整備を要望していきます。

学校教育

教育の基本は、学校教育にあり小・中学校の義務教育は、その最も重要な課程です。

教育施設の整備充実は、市の最大の事業として、財源を投入してきました。今後も第一幼稚園の改築や君田地区の統合校の新設など教育施設の充実を進めていきます。

社会教育の場にも

豊かなライフワークを充実するための生涯教育の重要さは、ますます

見直されている現状にある。いろいろな組織や団体、地域の共同生活など、すべて教育の場で

一般市民、婦人、青少年の学習と文化創造の場として、公民館、体育館などを活用し、自主的なグループ活動が盛んになるよう指導協力を積極的に進めていきます

高福祉を目ざして

社会経済の発展により、物が豊かになり、生活水準が向上してきましたが、まだまだ社会的にも経済的にも恵まれない人たちがいることを常に忘れることはできません。

ねたきりのおとしよりや、からだの不自由な子ども、心身障害者生活が困難な人など、これらの人々に暖かい手をさしのべ、みんなが同じように喜びあえる社会にしていかなければなりません。

保健衛生

わたくしたちが、毎日をおくる楽しく過ごすには、何よりも健康であることが大切です。

心身ともに健康で安心できる日常生活がおくられるよう、医療体制を充実すると共に、市民ひとりひとりが健康を保ち増進するための保健衛生対策をすすめていきます。

消費生活と安全

消費生活は、年々高度化、多様化してきています。

行きすぎた販売、新製品などからの危険の発生など、消費生活の問題はあとをたちません。

健全な消費生活を実現するため消費者保護対策を積極的にすすめることにも、「かしこい消費者」になれるようつとめていきます。

これらの市民の生命とくらしを守り安心して住める生活環境を確保するため、交通安全、公害防止防災対策などをすすめていきます

農林業の整備

農業の進むべき道は、後継者確保が困難な状況から、自立経営の育成と農用地の整備、生産性の高い集約的農業の展開につとめます

商業の近代化

松久保、手綱工業団地操業と住宅団地の造成、交通網の整備、大型店舗の進出によつて消費者が増え、購買力が高まってきました。

したがって、将来への商業地域の整備をはかり、商工会の育成と経営の近代化を推進していきます

水と緑を生かす観光

花貫ダムを中心とする観光資源

は、清流、緑にかこまれた自然環境の中で、年々観光客が増加しているの、その受け入れ体制の整備をはかつていきます。

市民サービスの行政へ

最近の行政需要は、複雑化しており、市民のみなさんと共に歩んでいく行政でなければなりません

また、生活圏の拡大に伴つて広域行政も必要であり、衛生、と畜場の、そして医療行政をあわせ今後の行政拡大をはかつていきます。



ここに紹介しました第二次基本計画のあらましは、「あすの高萩」を、より豊かに、より住みよ

みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

市民憲章の理念にもとづき、「あすの高萩」を、市民のみなさんとともに着実に実現していきたいと存じます。



あすの高萩をめざす市民憲章



経験を生かしたボランティア活動 佐藤シズエさん

市民登場

「在宅している体の不自由な子どもを励まし、力づけて少しでも世のため、人のために役立てば幸いです。」と話す佐藤シズエさん(54歳) 高浜町3-69は、在宅心身障害児の家庭を訪問し、ボランティア活動をしている一人。

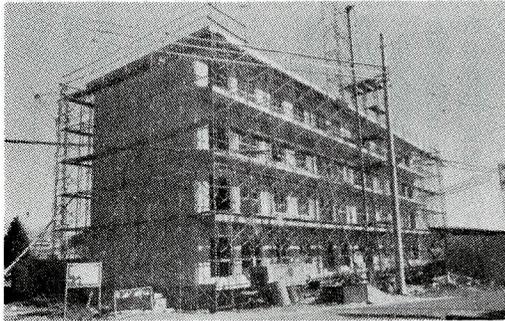
佐藤さんは、市内の小・中学校などの教師として34年間勤め、昨年4月1日に秋山小学校を最後に退職されました。その間、昭和39年4月に高萩小学校で初めて一学級の特級学級ができ、初代担任と

近く完成

石滝の市営住宅

石滝に建設中の市営住宅が、まもなく完成します。この市営住宅は、中層耐火4階建て16戸で、3DK(6畳、4・5畳、3畳、台所兼食堂、トイレは水洗式)からなり1戸58・51平方メートルとなっています。

入居申し込みなど詳しいことは、後日、週報などでお知らせすることになっていますが、市内に居住、または、勤務している方が対象となっています。



の家」を訪問し、実際に自分の目で、確かめるなど、ボランティア活動の勉強をかかさないと。「小さな児童館でもいいから、施設をつくり、その中に、太陽の家」のような室があれば、親も気がねなく子どもと一緒にこられるのでは。」と見学してきた施設の感想を話す。

佐藤さんは、毎週金曜日を訪問の日と定め、午前と午後の2回に分け、在宅障害児2件を定期的に訪問しています。

「最初は、はたして友だちになれるかと不安でした。今では、別れるときに互いに手をふりかわすようになりました。だれもいない公園で遊ぶとが楽しく、喜んでくれます。体と体のふれあいも一つの慣れでしょうか。」と次の訪問を楽しみにしています。

田村さん、永山さんが厚生大臣から表彰

田村義公さん(77歳) 赤浜1983と、永山たけさん(79歳) 下手綱590が、永年にわたる民生委員、児童委員としての社会福祉の増進に寄与されたとしてこのほど厚生大臣から表彰されました。

田村さんは、昭和21年11月に民生委員となり、赤浜地区の一部を担当。永山さんは、昭和25年6月に民生委員となり下手綱地区の一

14

花貫ダムと自然(1)

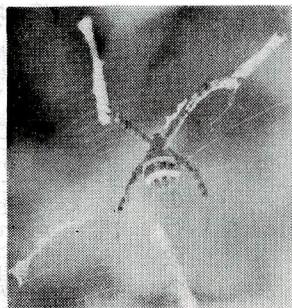
コガネグモ類とかくれおび

自然のなかの

鳥曾根から大能への道を歩くと、溪谷にそつた草間に、コガネグモを見かけることがある。頭胸部は銀白色、腹部も銀白色だが、そこに黒や赤の横縞が入つた美しい中型のコモである。このコモは、非常に

おもしろい習性を持つていて、網の中央に転座しているコモのからだにふれると、網をユサユサとまるで地震でも起きているかのようによさぶる。この性質は、後に述べる他のコガネグモ類にも共通している特徴で、一般に地震グモと呼ばれている。

このクモの網の中央を見ると、特別の白い糸が着けられていることがある。この白い糸のことを日本では「かくれおび」とよんでいて、X字状、棒状、ジグザグ状、渦巻状など、クモの種類によつて部を担当。ともに、永年にわたつて地域の家庭の心配ごとや、児童の問題など社会奉仕の精神をもつて保護、指導にあたり地域の社会福祉に努力されたとして表彰されたものです。



コガネグモ類とかくれおび

(高萩市自然を愛する友の会)

障害者で20歳になつた人は

障害福祉年金が支給されます

国民年金の障害年金は、国民年金に加入している期間中にかつた病気や、けががもとで、障害者になつた場合に支給されますが、国民年金に加入するのは、20歳からとなつておりますので、20歳になる前の病気やけががもとで、障害者になつた場合や、先天性の心身障害で困っている人には支給されないこととなります。

までは、児童扶養手当や、特別児童扶養手当を受けていても、20歳になると国からの手当が打ち切られてしまいます。

そこで、これらの人には、障害福祉年金を支給することになっていきます。この障害福祉年金は、障害の原因となつた病気やけがが20歳前にすでに症状が固定しているときは、20歳になつた月の翌月から、20歳を過ぎてから症状が固



春を尋ねて

坂道を上り下りして、上台の農園を訪づれてみた。
春はまだ浅いが、温室の中には、サイネリヤ桜草、アザレヤなど一ぱいに咲いていて、心地よい温もりの中に花の香が充満して幸せを感じさせる。

絵と文 伊藤龍馬

定したときは、固定した月の翌月分から支給されることとなります。障害福祉年金の額は、昭和51年10月から、障害の程度が一級の場合月額20,300円、二級の場合月額13,500円となつています。

この障害福祉年金は、厚生年金など、他の制度から年金を受けているときや、本人や扶養義務者にある程度の所得があるときは、支給が制限されます。

20歳前に重い病気にかつたり身体障害者になつた人で、20歳になつたときには、市役所の国民年金係で相談されることをぜひおすすめします。

4月から 2,200円に

国民年金の保険料

国民年金保険料が昭和52年4月から引き上げられます。いままでは、1カ月1,400円でしたが2,200円になります。これは昭和48年の法律によつて物価変動に応じて年金額を改正するもので支給されている年金額の引き上げや、年金受給者が増えているなどのためです。

保険料が引きあげられても、滞納しないよう納期限には必ず保険料を納めてください。また、いろいろな事情でどうしても保険料を

たかはぎの歴史

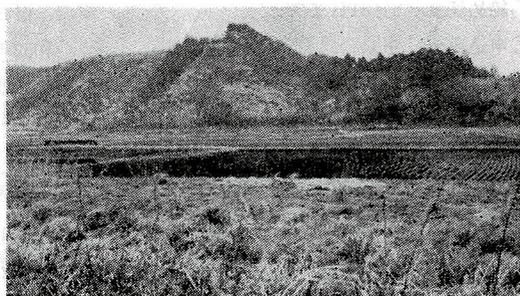
赤浜妙法寺過去帳(七)

文・志田 諱 一

永祿十年(一五六七)の死亡者に「道宣、七五、いしたき藤三郎岩城より御動きありて打たれるなり」とある。七五は七月五日である。岩城より御動きありてとは岩城氏の攻撃を物語る。永祿十年七月五日の岩城氏の攻撃で石滝の藤三郎が討死したのである。このとき下手綱にあつたリウガイ古屋敷の陣地も兵をくりだして奮戦したことであろう。この古屋敷の発掘調査では、香炉や茶わん、永祿通宝などが出土している。香炉の出土は、戦死者の供養があつたことを思わせる。

元龜三年(一五七二)の死亡者に、「妙諦靈、二十三、館うば宇佐美伊豆守女房」とある。二月十三日に館の乳母、宇佐美伊豆守の納められない方は、免除制度もあります。

国民年金の保険料は一年分まとめて前納することができ、割引きもあつて有利な制度です。前納する方は4月中に手続きしてください。くわしくは年金係へ。



下手綱にあるリウガイ古屋敷のあつた跡地



〇荒不恭平さん 本町 福祉のために

4,500円

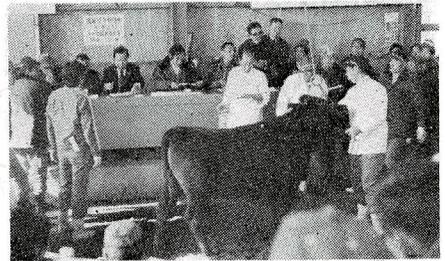
救急車を寄贈

さる2月12日、関彰商事(岡正夫社長)から市消防署に救急業務に役立ててほしいと救急車(セキシヨウ号)が贈られました。この救急車(セキシヨウ号は、52年式ニッサンシビア3B型(2,000CC)の乗車定員10人乗りの大型救急車で、担架3、クルマ椅子酸素ボンベ格納(酸素流量計)汚物入れ、手洗装置が装備されています。



牛市が開かる

2月8日、高萩家畜市場で牛市が開かれました。市内をはじめ、北茨城市、十王町、日立市の肥育牛農家が育てた牛で、めす牛74頭、去勢牛70頭です。午前の共進会には、めす牛去勢牛約100頭を出品し飼育技術を競い合いました。



高校生が清掃奉仕

通勤利用客の少ない時間の合い間をみて駅の待ち合い室や、ホームなどを清掃している女子高校生がいます。この生徒は高萩高JRC(代表深沢あけみ1年)9人の生徒さんたちです。毎月1回~2回土曜日午後2時から30分ゴミの多いときに清掃奉仕しています。須田洋子さん(3年)は「初めははずかしくて…。ときにはアルバイトとまちがわれて、今は平気です。」と明るいまちづくりにはげんでいます。



伊豆沼でわたり水鳥を観察

この目でわたり水鳥を観察してみよう一と、高萩市自然を愛する友の会では、1月29・30日の2日間にわたり、宮城県居柳町の伊豆沼で、子ども12名を含む29名が参加してマガン、オオハクチヨウなど約12,000羽の北からのわたり水鳥の観察をしました。



(写真は、柏義夫さん提供)

……国保だより……

現在使用されている国民健康保険被保険者証は3月31日で有効期限が切れます新しい保険証の交付は3月中に必ず更新してください。更新には保険証、印かんをご持参ください。

保険証更新日割表

月日	場 所	時 間
3.25	横川小学校	9.30~10.10
	下君田 "	10.30~11.10
	上君田 "	11.20~12.00
	若栗公民館	13.00~13.30
	大能 "	13.50~14.30
3.28	高戸公民館	9.30~10.20
	赤浜田園都市センター	10.30~11.20
	下手網公民館	13.30~15.00
3.29	北組公民館	9.30~11.00
	山手 "	13.00~13.40
	秋山中 "	14.00~15.00
	駒木原集会所	15.00~16.00
3.30	島名公民館	9.00~10.00
	秋山下 "	10.00~11.00
	有明町集会所	13.30~15.30
3.25~31	市役所	8.30~16.00

※ 26日(土)は午前中です。

文化講演会

ミュンヘンオリンピックでバレーボールの監督として金メダルを獲得し勇退した、松平康隆氏(スポーツ評論家)の文化講演会が開かれます。(入場無料)

とき 3月22日(火)午後1時
ところ 高萩市中央公民館
演題 「まけてたまるか」
主催 高萩市教育委員会

老人学級生の募集

中央公民館では、老人学級生を募集しています。生きがいのある老後の学習や

生活づくりをしてみませんか。

- とき 昭和52年4月から53年3月 月1回午前9時30分から12時
- 対象者 60歳以上の市民のかた
- 定員 50人
- 締め切り 3月31日まで
- 申込み先 中央公民館 ☎(3)1125

幼稚園の産休補充教諭を募集

幼稚園教諭免許状をおもちの方で、産休補充教諭を希望される方は、履歴書を添えて教育委員会へ申し込みください。登録しておきますと産休教諭がいたとき一定期間お願いすることになります。くわしくは市教育委員会学務課へ

固定資産課税台帳をお見せします

縦覧期間は 3月1日~22日

固定資産税は、毎年1月1日現在で土地家屋、償却資産の所有者に課税されます昭和52年度の課税の基礎となる固定資産課税台帳を次によりお見せします

縦覧期間 3月1日~3月22日

午前8時30分~午後5時まで

縦覧場所 市役所税務課

くわしいことは税務課

(☎(3)2111 内線215)まで問い合せください。

体育協会野球部の加入申込みは、3月1日までに、くわしくは体育館までどうぞ